

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 12月号 (NO68)

2015年12月10日 (木) 発行 (毎月10日)

【農暦】小豆、黒豆の収穫・選別の作業をほぼ完了!

○黒豆の莢から取り出す収穫作業は乾燥が絶対条件である。乾燥したかなと思うと雨が降り延び延びになっていた。休耕の水田の大豆も収穫されたのはつい最近であったので同じだったのかも知れない。午前中は夜露の湿気が取れないので昼過ぎから作業を始めた。2日のことである。夜からまた雨の予報であり、このタイミングにと風もあったが始めた。1時間もしない内にシートの上に雨粒が、予報は夜からであったので作業を続けると、また雨粒である。これでは駄目だとハウスの中へ緊急避難した。結果的には予報通り雨は降らなかった。一部を土楽小屋に持ち込んで作業を続行したが余計な作業を増やしてしまった。そんなことでハウスに持ち込んだ分が残っていた。9日昼過ぎから、ハウスから持ち出し残りの作業を行った。今年は栽培量が少ないのでクルリ棒は使わず一升瓶2本に豆の木を叩き付け莢から取り出した。かなり原始的な方法である。乾燥していたので作業は順調に進んだのだが、後片付けの時には、すっかり暗くなっていた。冬至が間近な今が、日が一番短い時季である。辛うじて終えることが出来て、少し安心した。後はJAの選別機を借りて選別するだけである。

○先月号で初霜に気づいていないと書いたが、8日9日と畑が真っ白になっていた。天気予報で平年と比べ22日遅れの初霜と報じていた。里芋の葉が枯れたのは霜によるものでなかったようだ。COP21 (注*)が今パリで行われているが、異常気象や海面上昇などを考えると可なり厳しいところにあるように感じる。先進国と発展途上国との厳しいやり取りがあるようだが、最早猶予なし状況にあるとも聞く。良い結論と願わずにはいられない。地球温暖化対策の観点からもCO2大量浪費の紛争・戦争をしている場合ではないのである。ナショナリズムの利己主義で人類を滅ぼしてはならない。通年の異常気象である。怖い。COP21が良い方向進むことを祈念せずにはいられない。

○余計なこと考えないで、自分の頭のハエを追えと言われそうであるが、歴史は繰り返すというが、人類が巨大になった分だけ、愚かさの害も極限化する。怖い。気になっていることなので、また横道に入ってしまったが、批判は甘受したい。自分の生活も畑もまとも



＜皇帝ダリア＞柏の散歩コースで。気候が良かったか？皇帝ダリアの花をよく見かける。5日撮影

に出来ていないこととは別次元のことだからである。

○今年も残り少なくなったが、やり残しは多い。出来る範囲でやりたい。また、いろいろな仲間との忘年会を、一年を振り返りながら楽しみたいと思う。そして、新年を迎える準備の時間に充てたいと思っている。

注* ; 気候変動枠組条約第 21 回締約国会議ことで、日本は 2030 年度に 2013 年比で温室効果ガスを 26%削減する約束草案を提出している。なかでも、私たちの暮らしに関する家庭部門 CO2 については約 40%の削減目標を掲げている。

【楽農】残りは畑の整理整頓か！

<畑 A> ; キューイの収穫 (続き)。

<ハウス> ; (放置のままの)。

<畑 B> ; 里芋、落花生収穫 (少量)、黒豆収穫 (続き)。

*小豆の選別、黒豆莢取り出しだしなど。



<赤白黒の小豆>選別完了した。白は小粒の大豆に酷似。高貴?な小豆味。5日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他 ; 男女共同参画推進フォーラム (21日) 笠間魅力発信隊連絡会 (26日) 水戸自然農収穫祭 (注*) (28日) 共生の会 (3日) 山野草の会忘年会 (4日) に参加など。

注* ; ホーリーバジル、黒色のコーン、モロヘイヤの種を頂いた。ホーリーバジルの葉に効能などが書かれていた。来年播種してみたい。



<水戸自然農の収穫祭>収穫を祝い美味を楽しんだ。子供も多く輪の拡がりを感じた。28日撮影

【つぶやき=Tweet】事実を直視したい！

○男女共同参画推進フォーラムで筑波大の佐藤教授が“睡眠と生活習慣病”について講演をされた。男女共同参画に関連付けた話につなげようと努力されていたが、その箇所だけが不自然で違和感があった。演題から無理しなくても思った。男は火星人で女は金星人で全く違いという。確かに違う。違うから魅かれ合い共同参画も出来るだと思ふ。また、「教養 (=今日用事がある) と教育 (=今日行くところがある) が大事と言われたが、ここに参加している人は“教養”も“教育”もある人ばかりある。9割は女性で、社会活動などで頑張っている人であると思った。男は何処に?といつも思う。ボケや介護の心配が少ない頼もしい人達である。そう思った次第である。私は「いびき」のことがもっと聴きたかった。

○最近忘れることが多い。いや覚ええないのかもしれない。興味のないことだから覚える必要がないと思っているからだ、慰めか皮肉か判らないことをよく言われる。「客観と主観

はっきりと区別」の見出しの新聞の切り抜きのコピーが手元にある。誰から貰ったか思い出せない。「里山資本主義」の著者で、日本総研の藻谷啓介さんの記事であった。最後のところに、安倍政権の経済政策を、数字を元に批判すると、「安倍嫌い」のレッテルを貼られる今の日本。新聞は、客観的な記事と、主観を述べる署名記事を峻別することで、主客混同の風潮に抗して欲しい。とある。某大手企業の幹部職員研修の一コマでお題は「事実を直視する」でクイズを通じ知ってもらおう講義で。空き家の多い都道府県は、正解は東京都で10軒に1軒。殺人事件数、輸出額、貿易赤字、個人消費、生産年齢人口などの正解が書かれていた。日本社会の上から下までごく基本的な事実の誤認が蔓延していると、あった。政治家だけでなく信頼できないことだらけで、猜疑心が募るばかりである。消費税をめぐる駆け引きも懸け合い漫才に聞こえる。性善説では生きて行けない世相が怖い。と書きながら記事の切り抜きをくれた主を思い出した。



＜白鳥＞ジョギングの人の傍で草？を。6日撮影

○野坂昭如さんが85歳で亡くなったと訃報のニュースが流れた。「火垂るの墓」で直木賞を受賞した。アニメ映画化されたが涙なしでは見られない。音痴の私が唯一歌った“黒の舟歌”でも知られている。独特なトークでも知られている。国会議員にもなった。昭和の後半を象徴するような人が亡くなっていく。「トラック野郎」の菅原文太は最晩年を山梨県知事に招かれ農業従事や戦争反対の発言などしていた。「幸福の黄色いハンカチ」や任侠映画の高倉健は日中合作映画「単騎、千里を走る。」で中国に多くのファンいた。あまり知られていない側面があった。今にして思えば古きよき時代の昭和が無くなってしまふような寂しさを感じる。



＜はやと瓜＞テーブルの上で伸びる芽。白鳥に見える？5日撮影

○そんな思いでいるとき、「イスラム教徒の米国への入国を全面的かつ完全に禁止する」との発言する不動産王ドナルド・トランプ氏が支持され、共和党の大統領指名候補争いのトップにあるとのニュースである。世界から反発が、「編集手帳」（読売10日）にも“見識を疑う”とあった。NHKの9日深夜の「ヘイトスピーチ」をたまたま見たが、歴史は繰り返すと云うが、怖い。21世紀は人類共生であって欲しいと思うのだが、、、。また余計なことを書き過ぎたようだ。

【後記】霜で真白の凍土の田畑もいい。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

HPに転載しています。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話：090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>